

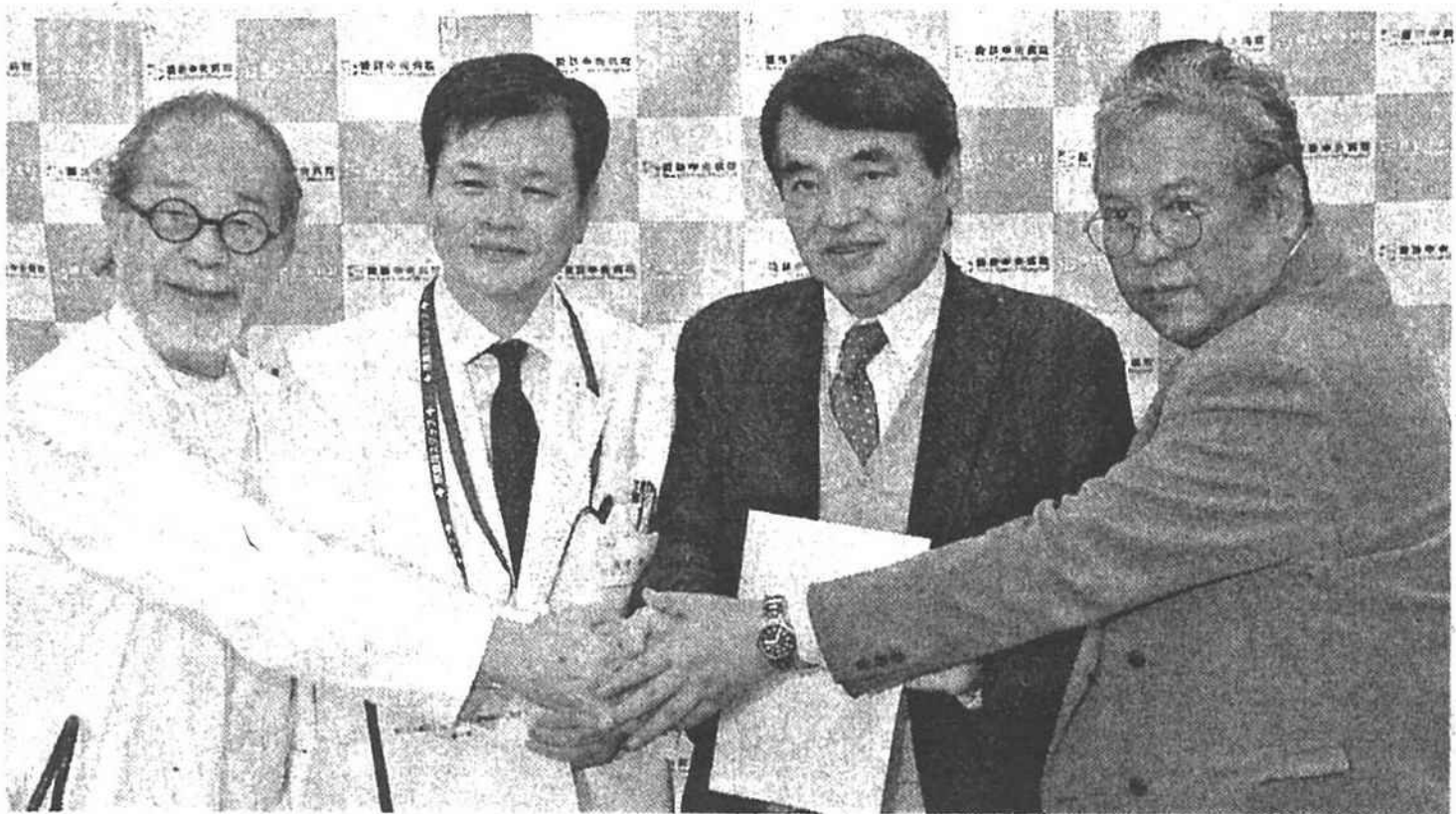
災害時医療支援協定 諏訪中央病院が調印

諏訪中央病院（茅野市）

と認定特定非営利活動法人「AMDA」（岡山市）は14日、南海トラフ巨大地震など大規模災害が起きた際に、被災地を支援する連携に、被災地を支援する連携協定に調印した。

昨年の西日本豪雨で、同病院の鎌田實名誉院長が岡山県総社市で支援活動を行ったことがきっかけとなった。協定では、AMDAの要請を受けて同病院が緊急医療チームを被災地に派遣。AMDAが協定を交わしている徳島、高知の両県で医療支援活動にあたる。

南海トラフ巨大地震では医療スタッフの不足が予想されており、吉沢徹院長は



協定に調印し握手する（左から）鎌田名誉院長、吉沢院長、AMDAの菅波茂理事長ら（14日、諏訪中央病院で）

「AMDAから要請があれば病院を挙げて協力したい」と語った。